



式 辞(校長からの入学生へのメッセージ)

アルプスの白い峰々と咲き始めた桜が、青空に映え、希望に満ちた春になりました。

本日ここに、39名の新入生を迎え、ご来賓の皆様や関係各位のご臨席を賜り、入学式を挙行できますことは、長野県南信工科短期大学の大きな喜びでございます。

新入生の皆さん、ご入学、誠におめでとうでございます。教職員を代表してお祝い申し上げます。保護者の皆様にも、重ねてお慶びを申し上げます。

先ほど、専門課程の機械システム学科18名、電気システム学科14名、短期課程の機械科7名の入学を許可いたしました。南信工科短期大学校へのご入学を、心からお祝い申し上げますとともに、教職員一同、大いに歓迎いたします。

この5年間余りは、新型コロナウイルス感染症禍で、新入生の皆さんも勉学ばかりでなく、ご家族ともども日々の生活においても、大変不自由な時期を過ごされてきたことと拝察いたします。ようやく、昨年度の始めに感染症が第五類に移行し、社会生活や経済活動もかつての日常へと戻ってまいりました。この入学式も、今年度は、保護者の方、来賓の方々もお呼びして、入学を祝う会とさせていただきます。保護者・来賓の皆様におかれましては、ご多用中のところご臨席を賜り、誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。

長野県南信工科短期大学校は、厚生労働省系の県立短期大学校として、平成28年(2016年)4月に、地域の皆様の多大なるご支援と、大きな期待の下に、開校いたしました。本校設置の目的は、将来の「ものづくり産業」を担う「地域中核人材」の育成です。本校では、急速に進展する技術革新(イノベーション)にも柔軟に対応できる専門知識と技術・技能を兼ね備え、地域のリーダーとして積極的に活躍する実践技術者「ものづくりのスペシャリスト」を育成しています。

本校のカリキュラムの特色は、「少人数教育」と「実験・実習」にあります。少人数教育により、基礎理論の習得から先端機器を活用した実験・実習を通じて、専門知識と技術・技能を学びます。学生の皆さんの確かな技術者としての実力は、このカリキュラムをじっくりこなしてゆくことにより徐々に蓄えられてゆきます。

その、本校に入学された皆さんに、教職員を代表してお祝いと歓迎の言葉を述べさせていただきます。

最初に、専門課程に入学する皆さん、皆さんは、開校九年目に入学した第九期生です。

入学した1年次には、「一般教育科目」から始まり、「基礎講義」と「基礎実技」を受講します。後期からは、両学科をまたがってグループを構成し、一緒に課題を研究・解決する「総合課題」があります。2年次には「専攻講義」があり、より深い専門知識を学び、その知識を基

に「専攻実技」では、実験・実習を受講します。最後に、2年間の集大成として「卒業研究」に取り掛かります。これらの必修科目に加えて、幾つかの「選択科目」もオンデマンド授業として用意されています。これらの充実した授業を通して、「ものづくりのスペシャリスト」としての確かな実践力を磨いてください。

次に短期課程入学の皆さん、皆さんは、開校九年目の前期に入学した、第十七期生です。皆さんは「機械科」で、伝統的な金属加工器具から最新のデジタル機器を操作する技術・技能を習得します。皆さんは、「普通学科」、「基礎学科」と「専攻学科」の座学の授業により得た、機械工学の知識と、「基礎実技」および「専攻実技」の実習授業で、より高度な技術と技能を身につけます。半年間で、即戦力の「ものづくりのスペシャリスト」としてのスキルアップを目指されることを期待しています。短い期間ですがそれだけ密度の濃い時間を過ごしてください。

昨今では、IoT・ロボット・VR・生成AIなどのいわゆるDX技術が、「ものづくり」の将来の姿さえも変えてゆこうとしています。「技術者」を目指して本校に入学された皆さんは、その真ただ中にいます。

このような新しい技術革新の時代に、「新入生の皆さんが目指す技術者とは、そして、技術者にとって最も大切なこと」は、何でしょうか。

本校は開校以来、デジタル・イノベーションに対応できる実践教育を担ってきました。明日の「ものづくり」を担う技術者の育成のために理念と目標に基づいて構成された本校のカリキュラムにより、専門分野の知識と技術・技能を確実に身に付けてください。

そして、いつも「技術者にとって最も大切なことは何か」を、問い質しながら学業に励んでください。必ずやその姿勢がこれから待ち受けている様々な課題に対応できる力となります。

本校が設置されています上伊那は、「田切地形」と呼ばれる独特の景観を呈した地域です。

この恵まれた地形と豊富な水を利用して明治の養蚕業から始まり、現在の産業を牽引する金属加工や精密機械、電子部品に関する工業が、先人の努力の上に発展してきました。この自然に恵まれ、ものづくり産業の高い技術を培った「上伊那の地」で、ともに学び、科学技術の確かな実力を身に付けた、「ものづくりのスペシャリスト」を目指してください。

そして何よりも、本校で、「思い出に残る楽しい学生生活」を過ごされることを、心より願い、私からの式辞といたします。

令和6年(2024年)4月8日

長野県南信工科短期大学校長 武田 三男